

教員免許状更新講座の受講理由と要望

川野 司

九州女子大学人間科学部人間発達学科

Reason and Demand in the Teaching License Renewal Course

Tsukasa Kawano

Abstract

Top three reasons students about the course update form license kindergarten, elementary school, high school and junior high school, understanding a child, "we want to be able to teach to understand the educational information of the latest "," because a compulsory course ", the change in children's was "I want to learn the challenges of education today", "I want to deepen. The top three items on the course request form update license, the "desire to exchange opinions concrete examples, practical, realistic challenges, case study, with students", "want a visual lecture" Also, "was "want to know what you want asked what hope can utilize in future classes," "fun, easy-to-understand language teaching in", "the faculty of the future.

Keywords: Course teacher license renewal

1. 調査目的

平成 21 年度 4 月に始まった教員免許更新制は今年で 4 年目を迎えた。免許状更新講座を受講した多くの教員が肯定的評価をしている。例えば文部科学省の平成 22 年度免許状更新講座の事後評価によれば、全国の必修講座受講者 64, 610 人の 92%が肯定的評価であった¹⁾。平成 23 年度、本学において免許状更新講座を担当する一人として、担当講座を受講する幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教員の受講理由と授業への要望を知るとともに、今後、受講者の期待に添える講座内容を検討する資料収集のために調査を実施した。

2. 調査方法

平成 23 年度教員免許状更新講座の必修科目「教育の最新事情」のなかで、8月6日実施の「法令改正」と「道徳・特別活動」、8月7日実施の「マネジメントマインド」を受講した教員 291 名に対して、受講理由と講座への要望に関するアンケート調査を行った。アンケートの調査票は、本年度の必修科目「教員の最新事情」ネット申込み者に対して、講座受講理由と講座への要望を自由記述で求めた資料を参考にして次の調査項目を作成した

問 1 先生の性別・校種・経験年数について、該当する番号に○を付けてください。

- ①性別（男性・女性） ②校種（幼稚園・小学校）
③経験年数（1～5年・6～10年・10～20年・20年以上）

問 2 本講習を選択された理由で該当する番号に○を付けてください（複数選択可）。

- ①必修科目だから
②教育の最新情報と事情を理解し、日々の指導に活かしたい、指導力を高めたいから
③昨年の選択科目を選んで良かった、母校だから
④長年の教職を通じ、今一度学びたいから
⑤求められている知識・技能を学びたいから
⑥子ども理解、子どもの変化を深めたいから
⑦今日的教育課題にどう取り組むかを学びたいから
(いじめ・虐待・特別支援・
モンスターペアレント・幼少及び小中連携・カリキュラム・教育政策・)

問 3 本講習に対する要望で該当する番号に○を付けてください（複数選択可）。

- ⑧視覚的な講義（グラフ、データ、パワーポイント）を望む
⑨具体的、実践的な事例、現実的課題、ケーススタディ、受講者との意見交換を望む
⑩聴講より活動のある講義を望む
⑪保護者やマスコミの意識がどうかを知りたい
⑫福岡県・北九州市の教育政策を知りたい
⑬今後の授業に活かせるものを望む
⑭楽しい、分かりやすい言葉での授業を望む

- ⑮子どもを複眼的。複合的に見れる情報を知りたい
- ⑯今後の教員に求められるものを知りたい
- ⑰しっかり勉強したい
- ⑱特別支援教育の学校内外の連携を知りたい

問4 本講習に対する意見・感想

3 調査内容の分析とコメント

(1) 免許状更新講座に関する受講理由

幼稚園では講座を選択した理由の上位3項目は、「必修講座だから」が86%、「最新の教育情報を理解し指導に活かしたい」が50%、「子ども理解、子どもの変化を深めたい」が44%であった(図1)。

小学校では講座を選択した理由の上位3項目は、「必修講座だから」が93%、「今日の教育課題を学びたい」が53%、「最新の教育情報を理解し指導に活かしたい」が50%であった(図2)。

中学校で講座を選択した理由の上位3項目は「必修講座だから」が94%、「今日の教育課題を学びたい」が34%、「最新の教育情報を理解し指導に活かしたい」が26%であった(図3)。

高等学校では講座を選択した理由の上位3項目は、「必修講座だから」が95%、「今日の教育課題を学びたい」が36%、「最新の教育情報を理解し指導に活かしたい」が33%であった(図4)。

(2) 免許状更新講座に関する要望

幼稚園では講座に関する要望の上位3項目は、「今後の授業に活かせるものを望む」が42%、「楽しい、分かりやすい言葉での授業を望む」と「視覚的な講義を望む」が39%、「今後の教員に求められるものを知りたい」と「具体的、実践的な事例、現実的課題、ケーススタディ、受講者との意見交換を望む」が33%であった(図5)。

小学校では講座に関する要望の上位3項目は、「今後の授業に活かせるものを望む」が53%、「具体的、実践的な事例、現実的課題、ケーススタディ、受講者との意見交換を望む」が43%、「視覚的な講義を望む」が36%であった(図6)。

中学校では講座に関する要望の上位3項目は、「今後の授業に活かせるものを望む」が45%、「具体的、実践的な事例、現実的課題、ケーススタディ、受講者との意見交換を望む」が32%、「今後の教員に求められるものを知りたい」が21%であった(図7)。

高等学校では講座に関する要望の上位3項目は、「今後の授業に活かせるものを望む」が51%、

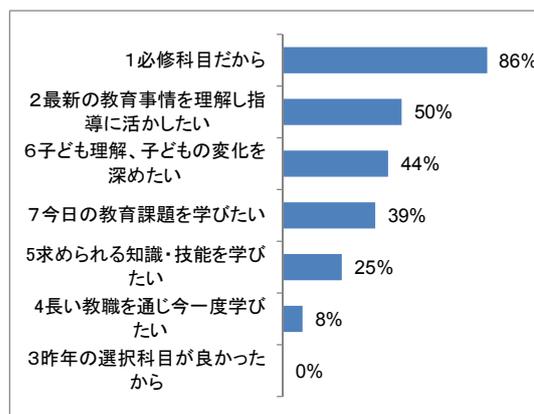


図1 講座選択理由 (幼稚園)

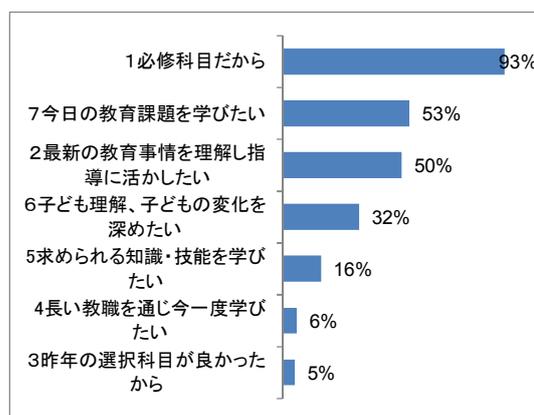


図2 講座選択理由 (小学校)

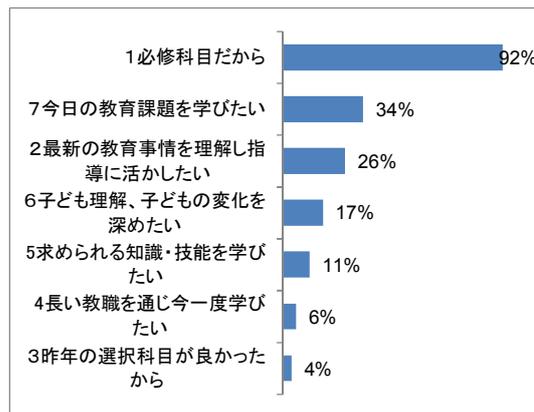


図3 講座選択理由 (中学校)

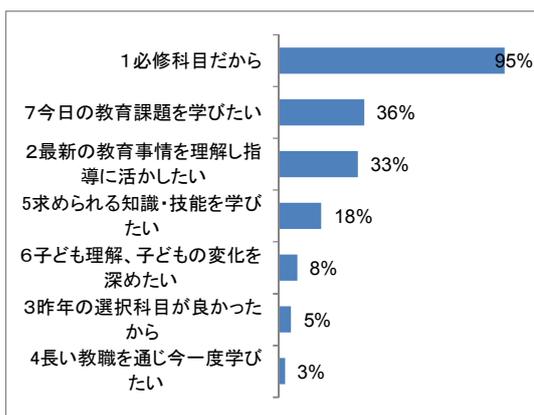


図4 講座選択理由 (高等学校)

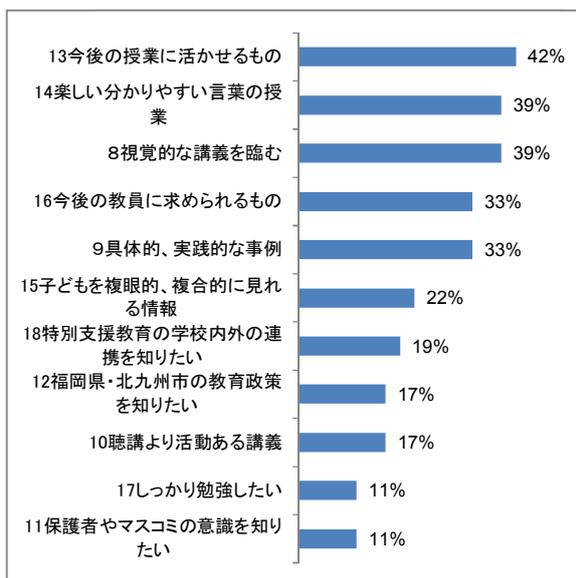


図5 講座要望（幼稚園）

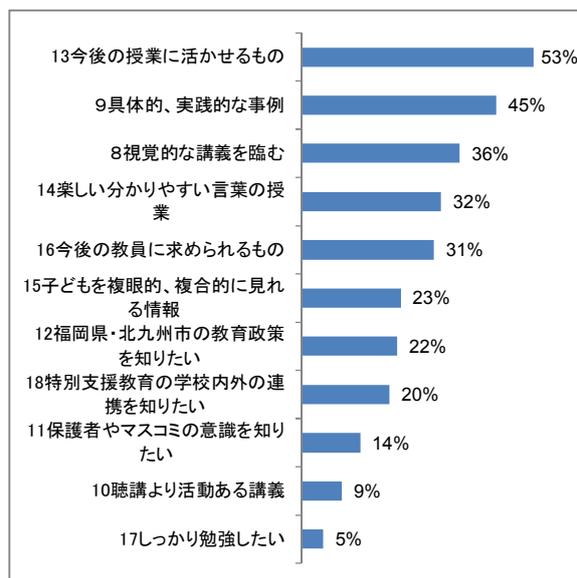


図6 講座要望（小学校）

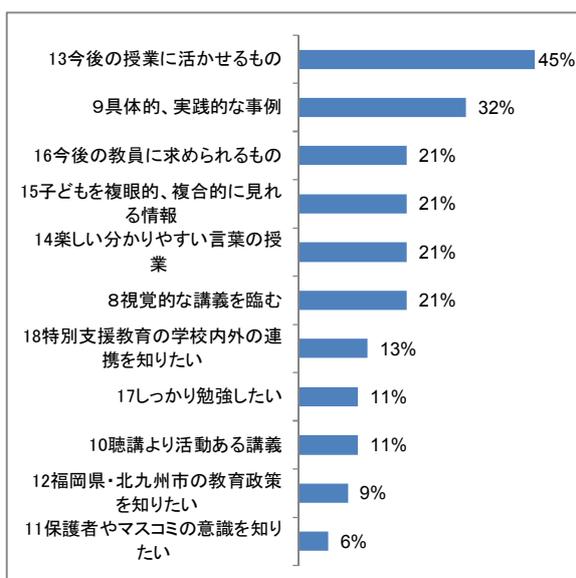


図7 講座要望（中学校）

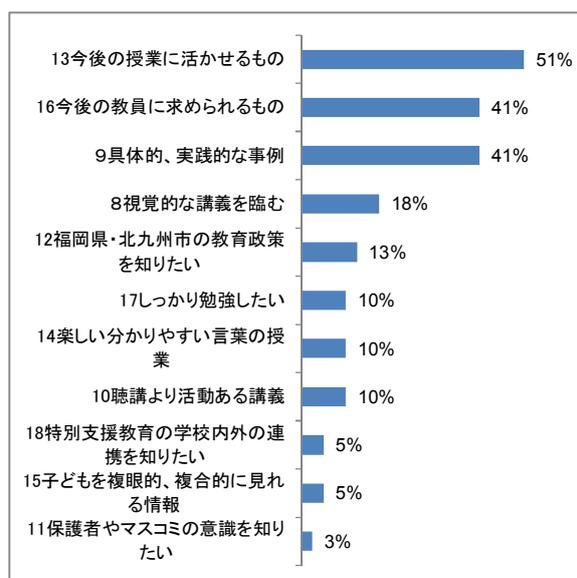


図8 講座要望（高等学校）

「今後の教員に求められるものを知りたい」と「具体的、実践的な事例、現実的課題、ケーススタディ、受講者との意見交換を望む」が41%、「視覚的な講義を望む」が18%であった（図8）。

（3）講座選択の理由のクロス集計

免許状更新講座に関する受講理由で、幼稚園、小学校、中学校、高等学校の上位3項目は、「必修講座だから」、「教育の最新情報と事情を理解し、日々の指導に活かしたい、指導力を高めたいから」、「子ども理解、子どもの変化を深めたいから」、「今日教育課題にどう取り組むかを学びたいから」であった。

次にこれら4項目を表頭項目にし、性別(男女)、校種(幼・小・中・高・特別支援)、経験年数(1

～5年、6～10年、11～20年、20年以上)を表側項目にしてクロス集計を行った²⁾。なお未回答のデータは除外したので、有効回答者は242名であった。

①「必修科目だから」のクロス集計

②「最新の教育事情の理解し指導に活かしたい」のクロス集計

「最新の教育事情を理解し、日々の指導に活かしたい、指導力を高めたいから」に「あてはまる」と回答している男性は26.5%、女性は46.1%で、女性の方が、最新の教育事情を指導にいかしたいと回答した割合が高いことが分かった。校種では幼稚園が52.9%、小学校が50.0%、中学校が26.9%、高等学校が27.8%であり、幼稚園と小



図9 必修科目だから

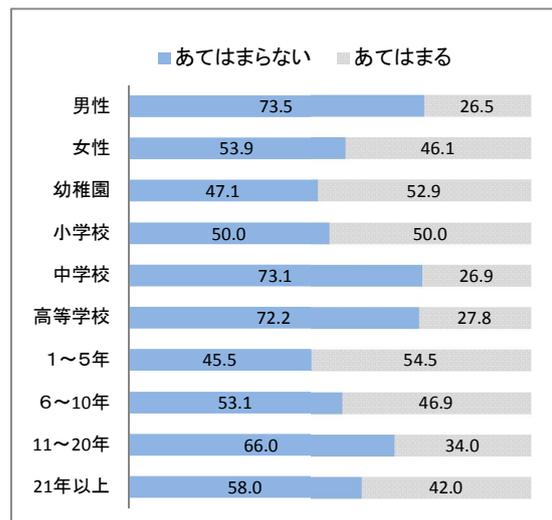


図10 最新の教育事情を理解し指導に活かしたい

表1 クロス集計表 (上段: 件数、下段: 比率)

集計項目		必修科目だから		
		全体	あてはまらない	あてはまる
分類項目		全体	あてはまらない	あてはまる
全体		242	19	223
		100%	7.90%	92.10%
性別	男性	49	3	46
		100%	6.10%	93.90%
性別	女性	193	16	177
		100%	8.30%	91.70%
校種	幼稚園	34	5	29
		100%	14.70%	85.30%
	小学校	116	8	108
		100%	6.90%	93.10%
	中学校	52	3	49
		100%	5.80%	94.20%
校種	高等学校	36	2	34
		100%	5.60%	94.40%
校種	特別支援学校	4	1	3
		100%	25.00%	75.00%
経年	1～5年	22	3	19
		100%	13.60%	86.40%
	6～10年	32	4	28
		100%	12.50%	87.50%
	11～20年	50	4	46
	100%	8.00%	92.00%	
経年	21年以上	138	8	130
		100%	5.80%	94.20%

表2 クロス集計表 (上段: 件数、下段: 比率)

集計項目		最新の教育事情の理解し指導に活かしたい		
		全体	あてはまらない	あてはまる
分類項目		全体	あてはまらない	あてはまる
全体		242	140	102
		100%	57.90%	42.10%
性別	男性	49	36	13
		100%	73.50%	26.50%
性別	女性	193	104	89
		100%	53.90%	46.10%
校種	幼稚園	34	16	18
		100%	47.10%	52.90%
	小学校	116	58	58
		100%	50.00%	50.00%
	中学校	52	38	14
		100%	73.10%	26.90%
校種	高等学校	36	26	10
		100%	72.20%	27.80%
校種	特別支援学校	4	2	2
		100%	50.00%	50.00%
経年	1～5年	22	10	12
		100%	45.50%	54.50%
	6～10年	32	17	15
		100%	53.10%	46.90%
	11～20年	50	33	17
	100%	66.00%	34.00%	
経年	21年以上	138	80	58
		100%	58.00%	42.00%

学校の割合が中高よりもかなり高かった (表2)。

③「子ども理解、子どもの変化を深めたい」のクロス集計

免許状更新講座の受講理由では、「子ども理解と子どもの変化を深める」は「あてはまる」と回答している割合が、全体で 27.7%と低かった。

特に中学校では 17.3%、高等学校では 8.3%とかなり低い割合であった。経験年数の違いでみると、1～5年では 45.5%、6～10年が 40.6%と高い割合だが、11～20年では 28.0%、21年以上では 21.7%と、割合は半減していた (表3 子ども理解と変化)。

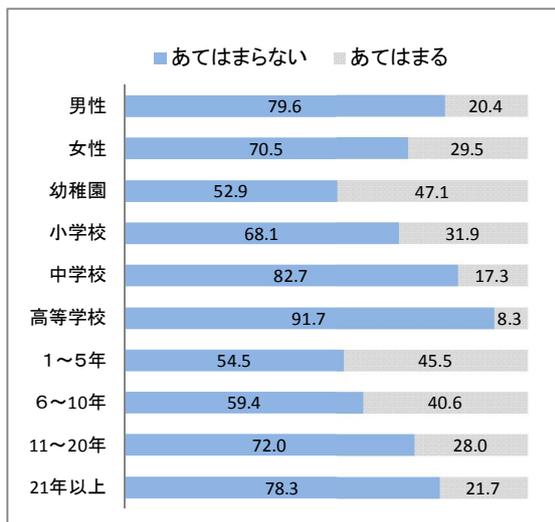


図11 子ども理解、子どもの変化を深めたい

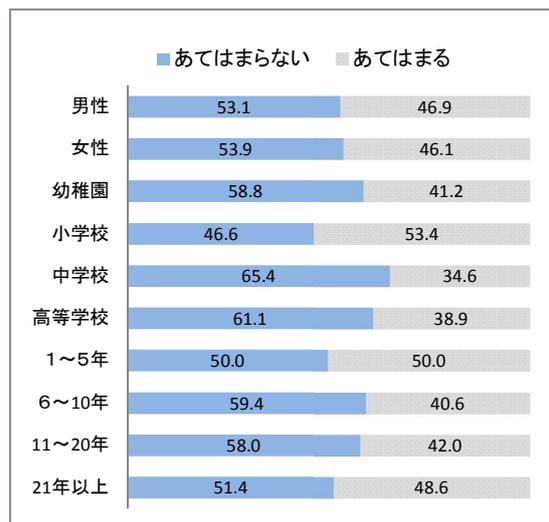


図12 今日の教育課題を学びたい

表3 クロス集計表 (上段: 件数, 下段: 比率)

集計項目		子ども理解、子どもの変化を深めたい		
		全体	あてはまらない	あてはまる
全体		242	175	67
		100%	72.30%	27.70%
性別	男性	49	39	10
		100%	79.60%	20.40%
性別	女性	193	136	57
		100%	70.50%	29.50%
校種	幼稚園	34	18	16
		100%	52.90%	47.10%
	小学校	116	79	37
		100%	68.10%	31.90%
	中学校	52	43	9
		100%	82.70%	17.30%
校種	高等学校	36	33	3
		100%	91.70%	8.30%
校種	特別支援学校	4	2	2
		100%	50.00%	50.00%
経年	1～5年	22	12	10
		100%	54.50%	45.50%
	6～10年	32	19	13
		100%	59.40%	40.60%
	11～20年	50	36	14
	100%	72.00%	28.00%	
経年	21年以上	138	108	30
		100%	78.30%	21.70%

表4 クロス集計表 (上段: 件数, 下段: 比率)

集計項目		今日の教育課題を学びたい		
		全体	あてはまらない	あてはまる
全体		242	130	112
		100%	53.70%	46.30%
性別	男性	49	26	23
		100%	53.10%	46.90%
性別	女性	193	104	89
		100%	53.90%	46.10%
校種	幼稚園	34	20	14
		100%	58.80%	41.20%
	小学校	116	54	62
		100%	46.60%	53.40%
	中学校	52	34	18
		100%	65.40%	34.60%
校種	高等学校	36	22	14
		100%	61.10%	38.90%
校種	特別支援学校	4	0	4
		100%	0.00%	100.00%
経年	1～5年	22	11	11
		100%	50.00%	50.00%
	6～10年	32	19	13
		100%	59.40%	40.60%
	11～20年	50	29	21
	100%	58.00%	42.00%	
経年	21年以上	138	71	67
		100%	51.40%	48.60%

④「今日の教育課題を学びたい」のクロス集計

受講理由として「今日的課題にどう取り組むかを学びたいから」を「あてはまる」と回答している割合は全体で 46.3%であった。校種では幼稚園 41.2%、小学校 53.4%であり、その割合は中学校 34.6%、高等学校 38.9%に比べて高かった(表4)。

(4) 数量化3類の適用

幼稚園教諭に対して、免許状更新講座に関する受講理由の回答データの特色や傾向を調べるために、7の質問項目について数量化3類³⁾を適用し固有値とカテゴリースコアを求めた(表5)。またカテゴリースコアの1軸と2軸は、相関係数が0.5以上を使用することにした。カテゴリー

表5 固有値・寄与率・相関係数

	固有値	寄与率	累積寄与率	相関係数
第1軸	0.4303	36.31%	36.31%	0.6559
第2軸	0.2750	23.21%	59.53%	0.5244

スコアの1軸と2軸の棒グラフは、それぞれ図13と図14である。

第1軸のプラス方向への値は、「求められている知識・技能を学びたいから」と「子ども理解、子どもの変化を深めたいから」の2つである。

同じようにマイナス方向への値は、「教育の最新情報と事情を理解し、日々の指導に活かしたい、指導力を高めたいから」と「長年の教職を通じ、今一度学びたいから」であった。これらは教員としての基本的スタンスに関する潜在要因と考え、1軸を教員の「職能成長」と命名した。2軸のプラス方向への値は、「長年の教職を通じ、今一度学びたいから」と「求められている知識・技能を学びたいから」であった。マイナス方向への値は、「必修科目だから」と「教育の最新情報と事情を理解し、日々の指導に活かしたい、指導力を高めたいから」であった。これらは1軸同様に教員としての自己成長に関する潜在要因と考え、2軸を教員の「自己成長」と命名した。

図15は、1軸「職能成長」を横軸にし、2軸「自己成長」を縦軸に取って、カテゴリースコアをプロットした散布図である。

同様に幼稚園教諭について、受講講座の要望の11の質問について数量化3類を適用し、固有値とカテゴリースコアを求めた(表6)

I軸のプラス方向への値は、「聴講より活動のある講義を望む」と「しっかり勉強したい」であるが、特に前者の値が大きい。これは授業への参

表6 固有値・寄与率・相関係数

	固有値	寄与率	累積寄与率	相関係数
第1軸	0.5328	19.52%	19.52%	0.7300
第2軸	0.4802	17.59%	37.11%	0.6930

画に関する潜在意識と考え、1軸を「授業の積極性」と命名した。

2軸のプラス方向への値は、「特別支援教育の学校内外の連携を知りたい」、「しっかり勉強したい」、「福岡県・福岡市の教育政策を知りたい」

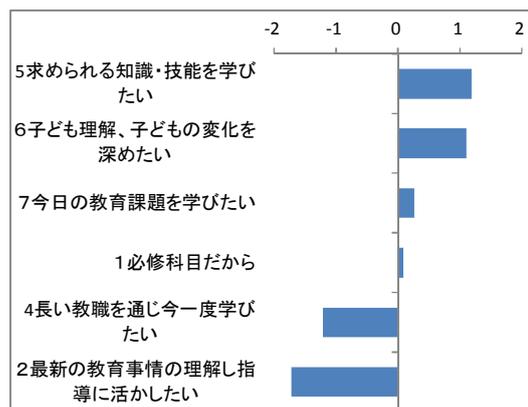


図13 カテゴリー数量 第1軸

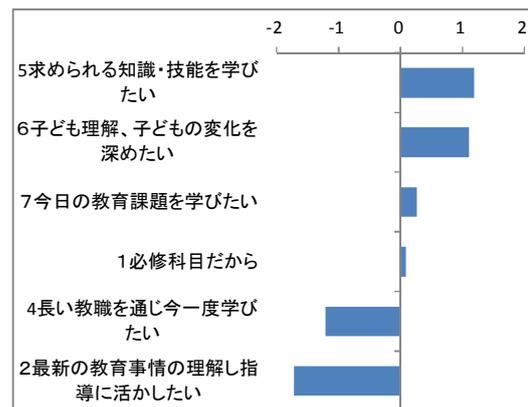


図14 カテゴリー数量 第2軸

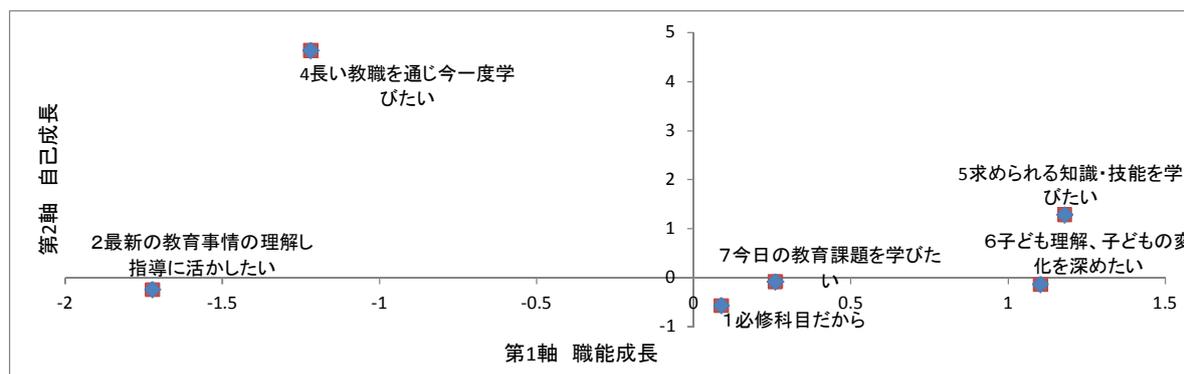


図15 第1軸×第2軸

であり、マイナス方向への値は、「今後の教員に求められるものを知りたい」、「保護者やマスコミの意識がどうかを知りたい」であった。これは幅広い教養の潜在変数と考え、2軸を「広い知見」と命名した。

1軸「授業の積極性」を横軸に、2軸「広い知見」を縦軸にして散布図を作成した(図14)

4 おわりに

平成21年4月に実施された教員免許更新制は、今年で3年目を迎えている。最初から必修科目を

担当しているが、毎年思うことは、担当している講座が、「はたして受講者の要望や課題解決に役に立っているだろうか」ということであった。授業では現場の現職教師を対象にしているので、授業者自身が緊張していたことは否めない。それは講座に対する受講者の学校課題の解決や教師としての省察にどれほど寄与できるだろうかを考えていたからである。換言すれば、受講者の期待に如何に応え、満足感を与えられるかということであった。

実際の授業では、質問もあまりなく、厳しい反

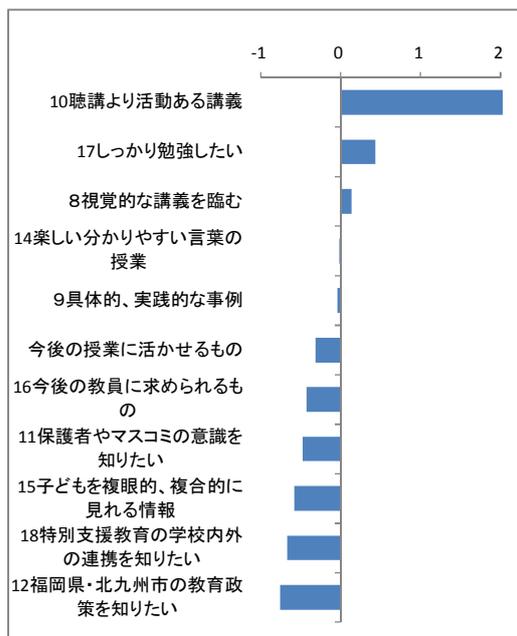


図16 カテゴリー数量 第1軸

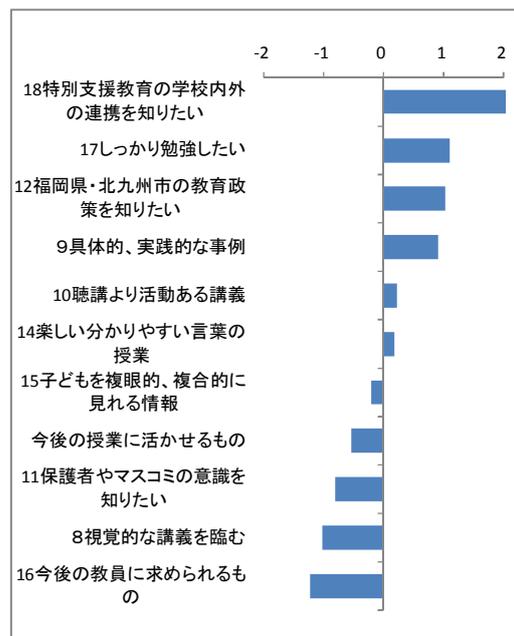


図17 カテゴリー数量 第2軸

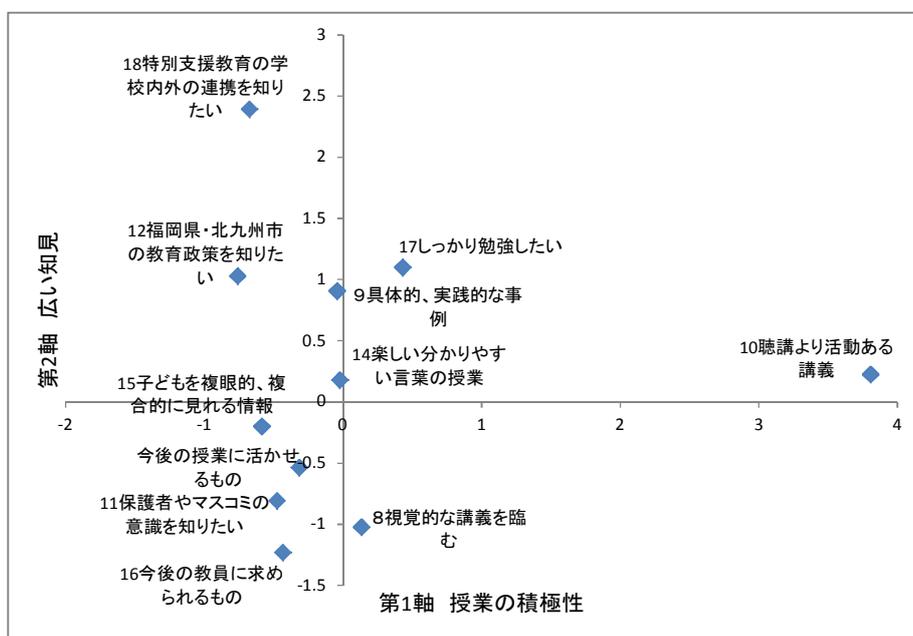


図18 第1軸×第2軸

応はないものの、毎年講座を担当するたびにいつも「これでいいのだろうか」という強い思いがあった。このたび、受講者のアンケート調査により、大まかな受講理由と講座への要望が客観的データとして把握できたことは、来年度の講座内容を考える際の参考になった。

参考文献

- 1) 文部科学省「平成 22 年度免許状更新講習事後指導評価について」<http://www.mext.go.jp/> (アクセス日：2012 年 5 月 15 日)
- 2) 菅民郎, 『すべてがわかるアンケートデータの分析』, 現在数学社, 25~42 頁, 2010 年
- 3) 木下栄蔵, 『多変量解析入門第 2 版』, 近代科学社, 93~101 頁, 2009 年
(原稿受付 2013 年 1 月 15 日)